

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	書 写
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着</p> <p>①「目標」と明記して、小单元ごとに目標を示している。</p> <p>②文字を整えて書くための姿勢（毛筆・硬筆）、書きやすい筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法・懸腕法、小筆：提腕法・枕腕法）などの写真を掲載している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫</p> <p>①「振り返って話そう」と表記して、学んだことを説明する活動を示している。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量</p> <p>①第1学年：毛筆教材13、硬筆記入欄19ページ 第2学年：毛筆教材9、硬筆記入欄12ページ 第3学年：毛筆教材5、硬筆記入欄1ページ 資料編：38ページ、巻末折込1（硬筆記入欄2ページ）</p> <p>②平仮名の成り立ち、文字の変遷を扱っている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記</p> <p>①「確かめよう」では、筆脈 を点線で示している。朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、「四つの動き」を示すアイコンで筆使いを示している。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実</p> <p>①第1学年では、「生活に広げよう」として「案内の手紙を書こう」「年賀状を書こう」などの教材が設定されている。</p>

(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着

- ①「目標を確かめよう」のマークを小単元の最初のページに提示し、小単元ごとに、そのマークの下に目標を示している。
- ②姿勢と構え方（毛筆：懸腕法、硬筆）、大筆の持ち方（双鉤法・単鉤法）、小筆の持ち方・構え方（提腕法・枕腕法）などの写真を掲載している。

(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫

- ①単元末に「自分の言葉でまとめよう」では、学んだことが実際に活用できているかを確認し、学んだことを自分の言葉でまとめるように示している。

(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量

- ①第1学年：毛筆教材8、硬筆記入欄13ページ
第2学年：毛筆教材8、硬筆記入欄7ページ
第3学年：毛筆教材3、硬筆記入欄0ページ
資料編：47ページ、巻末折込1（毛筆教材12）
- ②平仮名の発生、「いろは歌」、「竹取物語」を扱っている。

(エ) 第4の観点 内容の表現・表記

- ①「書き方を学ぼう」では、筆脈を青の矢印や点線で示し、言葉で解説している。行書の文字（朱墨）と、楷書（黒字）の文字を並べて示している。

(オ) 第5の観点 言語活動の充実

- ①第1学年では「やってみよう」として、「グループ新聞を作ろう」などの教材が設定されている。

教 出	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着</p> <p>①「目標」と明記して、小单元ごとに目標を示している。</p> <p>②基本の姿勢（大筆：懸腕法）、毛筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法）、小筆：枕腕法・提腕法）などの写真を掲載している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫</p> <p>①「振り返ろう」では、評価の観点を示し、その観点に沿って「できた＝○」「もう少し＝△」で自己評価を記入する欄が記載されている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量</p> <p>①第1学年：毛筆教材10、硬筆記入欄12ページ 第2学年：毛筆教材9、硬筆記入欄11ページ 第3学年：毛筆教材7、硬筆記入欄3ページ 資料編：41ページ、巻末折込1（毛筆教材13）</p> <p>②仮名の成立として「いろは歌」を扱っている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記</p> <p>①「考えよう」では、筆順と筆脈を矢印や点線で示し、言葉で解説している。朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、「変化」を示すアイコンと写真で筆使いを示している。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実</p> <p>①第1学年では「楷書と仮名を調和させて書こう」として、「学校生活に生かして書く『お薦めの本の帯やポップを作る』『ポスターを書く（ポスターセッション）』」などの教材が設定されている。</p>
-----	---

光 村	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着</p> <p>①「目標」と明記して、小单元ごとに目標を示している。</p> <p>②書くときの姿勢（大筆）、筆記具の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：提腕法・枕腕法、鉛筆）などの写真が掲載され、姿勢のチェック欄がある。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫</p> <p>①「学習を振り返る」では、評価の観点を示し、観点に沿って自己評価を記入する欄が記載されている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 (ウ) 内容の構成・配列・分量</p> <p>①第1学年：毛筆教材15、硬筆記入欄7＋書写ブック9ページ 第2学年：毛筆教材8、硬筆記入欄5＋書写ブック8ページ 第3学年：毛筆教材5、硬筆記入欄4＋書写ブック4ページ 資料編：41ページ、巻末折込1（上記のほかに、書写ブックに硬筆記入欄4ページ）</p> <p>②楷書として「いろは歌」を扱い、5つの書体について扱っている。</p> <p>(エ) 第4の観点 (エ) 内容の表現・表記</p> <p>①「②確かめよう」では、朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、写真と言葉で筆使いを示している。半紙原寸大の教材文字の横に、朱墨と薄墨で筆使いを示している。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実</p> <p>①第1学年では「【学校生活】目標を書こう」として、「学級スローガン」「個人目標」などの教材が設定されている。</p>
-----	--